

次号予告

『看護研究』53巻4号(2020年増刊号) JPN NURS RES 2020 Suppl.

特集

看護における事例研究の 査読基準を考える

1. 特集の趣旨 山本則子
2. 事例研究についての「客観性」「再現可能性」「一般化可能性」「新規性」
 - 2-1 看護学における事例研究の位置づけの現状と査読基準 齋藤凡
 - 2-2 社会福祉における事例研究の位置づけの現状と査読基準 坂本智代枝
 - 2-3 哲学・臨床実践の現象学における査読基準と事例研究 榊原哲也
 - 2-4 社会学における事例研究の位置づけの現状と査読基準 望月由紀
 - 2-5 当事者研究の立場から 石原孝二
 - 2-6 オートエスノグラフィの立場から 井本由紀
3. 看護における事例研究の査読基準に求められる要素——
全体の振り返りと今後の方向性 山本則子

特別記事

実践の事例研究で学ばれる事柄をどのように考えるか(前)
家高洋

編集協力者

阿曾洋子／井上智子／井部俊子／太田喜久子／岡谷恵子／
片田範子／金井Pak雅子／上泉和子／萱間真美／川口孝泰／
河口てる子／グレッグ美鈴／黒田裕子／小松浩子／坂下玲子／
真田弘美／筒井真優美／水流聡子／西村ユミ／野嶋佐由美／
早川和生／舟島なをみ／正木治恵／村嶋幸代／森恵美／
安酸史子／山田雅子／山本則子(五十音順)

編集後記

Covid-19をめぐり、さまざまな研究が物凄いスピードで進められています。研究誌としてできることを探りつついろいろお話を伺う中で、ある方が、Covid-19によって「何ができなくなったか」ということよりもむしろ、「逆に何が可能になったか」を考えたいと仰っていて、自分がネガティブな側面にとらわれていたことに気づきました。大きな災厄を乗り越えていくためにも、少しでもポジティブな要素を見だし研究の新たな可能性と現場への寄与を展望する視点から、今後取り上げていけたらと思っています。●本特集は、昨年の52巻3号特集の流れを引き継ぐものでした。掲載を快諾いただいたGrady博士、掲載にご協力いただいた上別府圭子先生ならびに日本看護系大学協議会の皆様、また昨年の特集から多大なるお力添えをいただきました真田弘美先生、戸部浩美先生、後藤大地先生に、心より御礼申し上げます。大変な状況のいまだからこそ、Grady博士のお話から一層のエネルギーが伝わってくる気がしました。(小長谷)

看護研究 第53巻 第3号(通巻294号)
2020年6月15日発行(増刊号を含め年7回発行)
発行:株式会社医学書院 代表者 金原 俊
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
販売・PR部:(03) 3817-5659
社内案内:(03) 3817-5600
医学書院ホームページ: <http://www.igaku-shoin.co.jp>
『看護研究』編集室:(03) 3817-5775
電子メールアドレス:kanken@igaku-shoin.co.jp
担当:小長谷・近江
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2020, Printed in Japan

1部定価2,000円+税

2020年年間購読料
(送料弊社負担、増刊号を含む年7冊)
冊子版:12,060円+税
冊子+電子版:個人15,060円+税
電子版:個人12,060円+税

学割年間購読料
冊子版:9,720円+税
冊子+電子版:個人12,720円+税
電子版:個人9,720円+税

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・
上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化
権を含む)は株式会社医学書院が保有します。
本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタル
データ化など)は、「私的使用のための複製」など
著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。
大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上
使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為
を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、
私的使用には該当せず、違法です。また私的
使用に該当する場合であっても、代行業者
等の第三者に依頼して上記の行為を行なうこと
は違法となります。

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き
禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に
出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088、
FAX03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp)の
許諾を得てください。